

課題名：後代検定事業

担当部所名：肉用牛研究所・改良研究室

予算(期間)：1952年度～

### 1. 目的

本県銘柄牛「常陸牛」等の肉用牛生産のため、産肉能力の優れた種雄牛を造成し、凍結精液を安定的に供給することで和牛の改良を促進する。

直接検定で選抜した候補種雄牛を公益社団法人全国和牛登録協会(以下、全和という。)が定める和牛種雄牛産肉能力検定法により、現場後代検定を実施する。

### 2. 方法

全和が定める和牛種雄牛産肉能力検定(現場後代検定法)に基づき実施した。

#### (1) 検定場所

畜産センター肉用牛研究所

全国農業協同組合連合会茨城県本部肉用牛哺育育成センター

民間農場

#### (2) 供試牛頭数:概ね 18 頭/ 1 種雄牛

#### (3) 出荷月齢:去勢: 29 か月齢未満、雌: 32 か月齢未満

### 3. 結果の概要及び要約

候補種雄牛「那珂光圀」、「那珂茂晴」の産子について検定を終了した。

得られた枝肉成績及び格付け成績は表1のとおりである。

今後、専門部会により選抜の可否について検討を行う予定である。

表1. 現場後代検定の結果概要について

候補種雄牛	性別	頭数	と畜月齢	検定期間	枝肉重量 kg	左半丸 枝肉重量 kg	ロース芯 面積 cm <sup>2</sup>	バラ厚 cm <sup>2</sup>	皮下 脂肪厚 cm	歩留 基準値 %	脂肪交雑	
											BMS No	等級
那珂光圀	全体	21	29.6	610.4	513	257	68	8.5	2.6	75.2	7.3	4.5
	去勢	11	29	592.9	527	264	71	8.4	2.4	75.5	7.4	4.5
	雌	10	29.7	612.1	497	249	65	8.6	2.9	74.8	7.3	4.4
那珂茂晴	全体	7	29.6	611.0	523	263	72	8.4	2.4	75.6	9.3	4.9
	去勢	3	29.1	583.7	551	277	75	8.3	2.1	75.8	9.7	5.0
	雌	4	30	631.5	503	253	70	8.4	2.5	75.5	9.0	4.8